

**世田谷ケアマネジャー連絡会からの報告**  
**－アンケート調査からみたコロナ禍におけるケアマネジャー－**

世田谷ケアマネジャー連絡会

相川 しのぶ、佐藤 備平、渡部 幹、石井 琢也  
 斉藤 きみ子、杉本 義子、渡邊 尚美、森川 敦子

(ケアマネジャー コロナ禍 実態調査)

**1 はじめに**

2020年1月に日本で初めての感染が確認された新型コロナウイルスは、未だに感染拡大が続いている状況にある。感染防止策の長期化は、高齢者や家族の生活に大きな変化をもたらし、また、医療機関や介護サービス事業者等にも重大な影響を及ぼしている。このような状況において、高齢者やその家族の生活を支える支援を行うケアマネジャーは、どのような実践を行っているのだろうか。世田谷区在住在勤等のケアマネジャーの職能団体である「世田谷ケアマネジャー連絡会」は、区内居宅介護支援事業所及び区内高齢者施設に勤務するケアマネジャー・主任ケアマネジャー、計画作成担当者を対象に、実態調査を行った。発表では、居宅・施設各々のアンケート結果を報告するとともに、コロナ禍におけるケアマネジャーの役割や課題等について考察する。

**2 調査概要**

(1) 対象

【居宅】世田谷区内に所在する居宅介護支援事業所248ヶ所に勤務するケアマネジャー及び主任ケアマネジャー

【施設】世田谷区内に所在する高齢者施設計145ヶ所に勤務するケアマネジャー、主任ケアマネジャー及び計画作成担当者



(2) 調査方法

- ・主任ケアマネジャーと施設ケアマネジャー各部会にてアンケート調査項目を作成
- ・ファクシミリにてアンケート用紙を配布・回収

(3) 調査実施期間

【居宅】2020年6月16日～6月23日      【施設】2020年8月5日～8月17日  
 (対象期間は2020年1月～7月)

(4) 回収率

【居宅】61.7% (回答153人)      【施設】30.1% (回答43人)

**3 調査結果概要**

【居宅】労務環境／ケアマネジメント業務の実施状況／業務上の課題／利用者や家族等に生じた新たな課題 (利用者や家族に対して・行政情報等に関して・判断や対応) ／区への提言

\*利用者・家族等に生じた新たな課題：サービス控え、心身機能の低下等

【施設】施設運営体制の状況変化／利用者の変化／ケアマネジャーとして留意したこと (利用者や家族、関係機関に関して・施設ケアマネジメントに関して) ／施設ケアマネジャーの役割

\*利用者への影響について：面会制限、余暇活動等縮小→体力・認知機能・生活の質低下等

